



未来の先生展
2017

教室読み聞かせのすすめ

～その方法・意図・価値をインストラクションする～

講座形式

開催日時 2017年 8月 26日(土) 16:20-17:50

場 所 武蔵野大学有明キャンパス 1号館3F 307教室

ファシリテーター NPO授業づくりネットワーク理事長 石川晋

内容

教室で読み聞かせをしていますか？ 絵本の読み聞かせ、物語の読み聞かせ、通信や配付プリントの読み聞かせ、あるいは読み語りやストーリーテリングに至るまで、学校現場で行われる読み聞かせ活動について、私は「教室読み聞かせ」と名称をつけて、その可能性について、これまで書籍や各地での研修を通じてお話ししてきました。今回の講座では、そのエッセンスについて、みなさんにお話をしたいと考えています。教室で読み聞かせを持続可能に続けたいと願っている先生方、あるいは学校に入って読み聞かせ活動をしてみたいという方々向けの、ベーシックな講座です。



ここに注目！

ある年の夏。小学校の新卒教師と臨時採用の若手が集まる学習会の講師を務める機会をいただきました。2日間教科経営と教室経営について学ぶ意欲的なプログラムです。この会で20名ほどの参加者に教室で読み聞かせ(物語や絵本を読むこと)をしている人はいますかと尋ねました。なんと、聴講されていたベテランの先生1名しか手は挙がりませんでした。教室読み聞かせを続けていくことには、教え手学び手にたくさんのメリットがあります。方法としてもハードルが低く、だれでも取り組める方法です。であるにもかかわらず、多くの若手教員が読み聞かせの「力」を知らないことは、大きな大きな損失だと思っています。この講座では、具体的な読み聞かせの方法、読み聞かせに関わる様々な方法、読み聞かせの価値など、初学者向けのお話をまとめてお話しします。『学び合うクラスをつくる！ 教室読み聞かせ・読書活動アイデア38』（明治図書）にまとめた内容を、具体的に映像や体験でご理解いただける内容になります。実際の読み聞かせも、時間の許す限り実演する予定です。

登壇者

石川 晋

NPO授業づくりネットワーク理事長

日本児童文学者協会会員

北海道子どもの本連絡会運営委員

元北海道公立中学校教諭



(いしかわ・しん)

1967年北海道旭川市生まれ。

北海道旭川北高等学校を経て、北海道教育大学旭川分校教育学部卒業。

1989年に中学校教諭となり、以後オホーツク管内、旭川市内、十勝管内の中学校を歴任。2003年在職のまま北海道教育大学旭川校教育学部修士課程(国語)を修了。2017年3月道教委(公立中学)を退職。1990年代から日本児童文学誌などに、児童文学評論を発表し注目を集める。同誌で、上野瞭、奥田継夫と3人で映画評論の連載を書く。また採用当初から中学生を対象とした絵本や物語の読み聞かせ活動を開始し、北海道子どもの本連絡会の運営委員として、道内一円での読書会活動、図書館運動に関わる。実は、北海道で最初の「家庭文庫」である。

【著書】

『「対話」がクラスにあふれる！国語授業・言語活動アイデア42』（明治図書）、『学級通信を書きつづけるための10のコツと50のアイデア』（学事出版）、『協同学習でどの子も輝く学級をつくる』（佐内信之、阿部隆幸氏との共編著／学事出版）、『学び合うクラスをつくる！ 教室読み聞かせ・読書活動アイデア38』（明治図書）、『石川晋ーエピソードで語る教師力』（明治図書）、『対話と協同でつくる校内研修』（大野睦仁氏との共著／学事出版）、『音楽が苦手な先生にもできる！学級担任の合唱コンクール指導』（明治図書）、『堀裕嗣×石川晋 教師をどう生きるか』（学事出版）、『教室からの声を聞け』（多賀一郎氏との共著／黎明書房）、『学校でしなやかに生きるということ』（フェミックス）、『わたしたちの「撮る教室」』（小寺卓矢、41名の石川学級の生徒たちとの共著／学事出版）など、多数。